

|   |                                   |                   |                       |                         |                    |     |            |     |      |
|---|-----------------------------------|-------------------|-----------------------|-------------------------|--------------------|-----|------------|-----|------|
| 科目名   | 病理学 1 (総論)                        |                   |                       |                         |                    |     |            | 年度  | 2026 |
| 英語科目名   | Pathology 1 (The general remarks) |                   |                       |                         |                    |     |            | 学期  | 後期   |
| 学科・学年   | 柔道整復科 1年次                         | 必/選               | 必                     | 時間数                     | 15                 | 単位数 | 1          | 種別※ | 講義   |
| 担当教員  | 岡本 純佳                             | 教員の実務経験           |                       | 有                       | 実務経験の職種            |     | 医師 (病院勤務医) |     |      |
| <b>【科目の目的】</b><br>病理学を習得して柔道整復師が現場での適切な施術を行う基盤をつくることを目的とする。   |                                   |                   |                       |                         |                    |     |            |     |      |
| <b>【科目の概要】</b><br>疾病の成り立ちを学びます。   |                                   |                   |                       |                         |                    |     |            |     |      |
| <b>【到達目標】</b><br>健康状態から逸脱し、身体的または精神的に機能が障害され、異常となった状態である疾病の原因、経過、本態、他の疾病との鑑別する能力を身につけるために、疾病の分類や経過などを理解することや、場合によっては死へと進む病変である細胞障害（退行性変化、代謝障害）を理解することを到達目標とする。            |                                   |                   |                       |                         |                    |     |            |     |      |
| <b>【授業の注意点】</b><br>キャリア形成の観点から、授業中の私語や受講態度などには厳しく対応する。理由のない遅刻や欠席は認めない。授業に出席するだけでなく、社会への移行を前提とした受講マナーで授業に参加することを求める（詳しくは、最初の授業で説明）。ただし、授業時数の4分の3以上出席しない者は定期試験を受験することができない。 |                                   |                   |                       |                         |                    |     |            |     |      |
| 評価基準＝ルーブリック   |                                   |                   |                       |                         |                    |     |            |     |      |
| ルーブリック評価  | レベル5<br>優れている                     | レベル4<br>よい        | レベル3<br>ふつう           | レベル2<br>あと少し            | レベル1<br>要努力        |     |            |     |      |
| 到達目標 A  | 病理学に意義について完全に理解している。              | 病理学に意義について大理解している | 病理学に意義について部分的に理解している。 | 病理学に意義についての理解がやや不足している。 | 病理学に意義について理解していない。 |     |            |     |      |
| 到達目標 B  | 病変の分類を完全に理解している。                  | 病変の分類を大理解している     | 病変の分類を部分的に理解している。     | 病変の分類について理解がやや不足している。   | 病変の分類を理解していない。     |     |            |     |      |
| 到達目標 C  | 萎縮と変性について完全に理解している。               | 萎縮と変性について大理解している  | 萎縮と変性について部分的に理解している。  | 萎縮と変性についての理解がやや不足している。  | 萎縮と変性について理解していない。  |     |            |     |      |
| 到達目標 D  | 代謝障害について完全に理解している。                | 代謝障害について大理解している   | 代謝障害について部分的に理解している。   | 代謝障害についての理解がやや不足している。   | 代謝障害について理解していない。   |     |            |     |      |
| 到達目標 E  | 壊死について完全に理解している。                  | 壊死について大理解している     | 壊死について部分的に理解している。     | 壊死についての理解がやや不足している。     | 壊死について理解していない。     |     |            |     |      |
| <b>【教科書】</b><br>教科書（病理学一般社団法人全国柔道整復学校協会 監修一）に準拠する。  |                                   |                   |                       |                         |                    |     |            |     |      |
| <b>【参考資料】</b>   |                                   |                   |                       |                         |                    |     |            |     |      |
| <b>【成績の評価方法・評価基準】</b><br>試験と課題を総合的に評価する。  |                                   |                   |                       |                         |                    |     |            |     |      |
| ※種別は講義、実習、演習のいずれかを記入。   |                                   |                   |                       |                         |                    |     |            |     |      |

| 科目名  |              | 病理学 1 (総論)                        |             |  | 年度   | 2026 |
|------|--------------|-----------------------------------|-------------|--|------|------|
| 英語表記 |              | Pathology 1 (The general remarks) |             |  | 学期   | 後期   |
| 回数   | 授業テーマ        | 各授業の目的                            | 授業内容        | 到達目標＝修得するスキル                           | 評価方法 | 自己評価 |
| 1    | ガイダンス        | 病理学を学ぶ意義について。                     | 1 病理解剖      | 疾病で死亡した人の解剖を通して疾病の本体解明に役立てることについて理解する。 | 3    |      |
|      |              |                                   | 2 外科病理学     | 生体から得られた試料を用いて疾患の診断を行うことを理解する。         |      |      |
|      |              |                                   | 3 実験病理学     | 実験動物に疾病を発症させて疾病本態や治療の研究を行うことについて理解する。  |      |      |
| 2    | 疾病の一般①       | 疾病の意義と分類について。                     | 1 健康と疾病     | WHO憲章の健康の定義と生理学的健康について理解する。            | 3    |      |
|      |              |                                   | 2 先天性疾患     | 生まれながらの疾病で多くは異常の発生が出生前であることを理解する。      |      |      |
|      |              |                                   | 3 後天性疾患     | 生後発生する疾病について理解する。                      |      |      |
| 3    | 疾病の一般②       | 症候の意義と分類について。                     | 1 病変と症候     | 病変・症候・自覚症状・他覚的所見・症候群などについて理解する。        | 3    |      |
|      |              |                                   | 2 病名        | 独立した病変や症候を呈するもので他と区別する必要性を理解する。        |      |      |
|      |              |                                   | 3 疾病の経過     | 発病・治癒・急性・転帰・予後などについて理解する。              |      |      |
| 4    | 細胞傷害①        | 細胞傷害について。                         | 1 細胞傷害の定義   | 細胞・組織・臓器が種々の障害による病変について理解する。           | 3    |      |
|      |              |                                   | 2 退行性病変の分類  | 萎縮・変性・壊死が含まれることについて理解する。               |      |      |
|      |              |                                   | 3 萎縮とは      | 正常に発育した組織や臓器が何らかの原因で小さくなることを理解する。      |      |      |
| 5    | 細胞傷害②        | 萎縮の種類について。                        | 1 生理的萎縮     | 老人性萎縮や退縮について理解する。                      | 3    |      |
|      |              |                                   | 2 貧血性萎縮     | 動脈硬化性萎縮や圧迫性萎縮について理解する。                 |      |      |
|      |              |                                   | 3 廃用性萎縮     | 無為性・神経性・内分泌性の各萎縮について理解する。              |      |      |
| 6    | 細胞傷害③        | 変性について。                           | 1 変性の定義     | 細胞が正常と異なる形態を示すことについて理解する。              | 3    |      |
|      |              |                                   | 2 蛋白質変性     | 顆粒変性・アミロイド変性・フィブリノイド変性などについて理解する。      |      |      |
|      |              |                                   | 3 その他の変性    | 脂肪変性・糖原変性・石灰化などについて理解する。               |      |      |
| 7    | 細胞傷害④        | 代謝障害と疾病①について。                     | 1 尿酸代謝異常    | 痛風について理解する。                            | 3    |      |
|      |              |                                   | 2 カルシウム代謝異常 | 結石症について理解する。                           |      |      |
|      |              |                                   | 3 胆石症と尿路結石症 | 各種類と原因について理解する。                        |      |      |
| 8    | 振り返り         | 前期1回～7回の講義の振り返り。                  | 1 病理学とは     | 研究試料による分類について理解する。                     | 3    |      |
|      |              |                                   | 2 疾病の一般     | 病変・症候・病名・疾病の経過について理解する。                |      |      |
|      |              |                                   | 3 細胞傷害      | 萎縮・変性・代謝異常について理解する。                    |      |      |
| 9    | 細胞傷害⑤        | 代謝障害と疾病②について。                     | 1 色素代謝異常    | リポフスチン・メラニンなどについて理解する。                 | 3    |      |
|      |              |                                   | 2 ヘモジデローシス  | ヘモジデリンの局所あるいは全身の沈着について理解する。            |      |      |
|      |              |                                   | 3 ヘモクロマトーシス | 進行性で実質細胞傷害を起こす高度のヘモジデローシスであることを理解する。   |      |      |
| 10   | 細胞傷害⑥        | 代謝障害と疾病③について。                     | 1 溶血性黄疸     | 赤血球の早期破壊亢進であることを理解する。                  | 3    |      |
|      |              |                                   | 2 肝細胞性黄疸    | 肝細胞でのビリルビンの処理に障害が生じた場合であることを理解する。      |      |      |
|      |              |                                   | 3 閉塞性黄疸     | 胆汁流路の機械的な閉塞による胆汁のうっ滞であることを理解する。        |      |      |
| 11   | 細胞傷害⑦        | 糖尿病について。                          | 1 種類        | I型と2型に大別することについて理解する。                  | 3    |      |
|      |              |                                   | 2 症状        | 狡猾・多飲・多尿・易疲労感・体重減少などについて理解する。          |      |      |
|      |              |                                   | 3 合併症       | 網膜症・腎症・神経障害などについて理解する。                 |      |      |
| 12   | 細胞傷害⑧        | 老化について。                           | 1 加齢と老化     | 成長した臓器が加齢で機能減退と形態的变化を示し衰退することを理解する。    | 3    |      |
|      |              |                                   | 2 細胞組織の老化   | 身体全体が縮小し各臓器の重量も減少して萎縮することを理解する。        |      |      |
|      |              |                                   | 3 各臓器の老化    | 血管・心臓・肝臓・腎臓・中枢神経の老化について理解する。           |      |      |
| 13   | 細胞傷害⑨        | 壊死について。                           | 1 壊死の定義     | 細胞組織の死について理解する。                        | 3    |      |
|      |              |                                   | 2 壊死の分類     | 凝固壊死・融解壊死・壊疽について理解する。                  |      |      |
|      |              |                                   | 3 死の定義      | 全身死のことで生体活動の永久の停止について理解する。             |      |      |
| 14   | 振り返り         | 前期9回～13回の講義の振り返り。                 | 1 代謝障害      | 黄疸の種類について理解する。                         | 3    |      |
|      |              |                                   | 2 糖尿病       | 種類・症状・合併症について理解する。                     |      |      |
|      |              |                                   | 3 壊死        | 定義と分類について理解する。                         |      |      |
| 15   | 病理学1(総論)のまとめ | 前期病理学1(総論)全体の振り返り。                | 1 疾病        | 先天性疾患と後天性疾患について理解する。                   | 3    |      |
|      |              |                                   | 2 萎縮とは      | 萎縮の種類について理解する。                         |      |      |
|      |              |                                   | 3 黄疸        | 黄疸の種類について理解する。                         |      |      |

評価方法：1. 小テスト、2. パフォーマンス評価、3. その他

自己評価：S：とてもよくできた、A：よくできた、B：できた、C：少しできなかった、D：まったくできなかった

備考 等